ここ数日、寒さもゆるぎ、桜の開花の便りも、あちらこちらから届くようになりました。塾の周りの桜もこのお手紙には、間に合わなかったようで…また、来月にでも紹介できればと、思っています。

4月…みなさん進級おめでとうございます。塾も心機一転、また新しい1年のスタートです。新学年、新学期を、むかえるにあたり、みんなどんな目標、夢を持っていますか。新たに受験生となった人は高校又は大学への入学が今年一年間の目標となるのは当然。受験が終わった人、私の番は、まだ来年だという人も、今年一年間の目標をしっかりと持って勉強に取り組んでくれたらと思います。思えば、ここで塾をはじめて以来“夢を持って、その夢に向かってがんばりたい!!”“中学、高校でがんばって、自分の夢を探したい”という、子ども達を応援したいというスタンスは今でも私の中で変わることはありません。人は、何か目標が無ければ、前に進もうとか努力しようという気持ちは弱くなるもの。ただ漠然と与えられた課題をこなすとか勉強する…というのではなく、たとえ、小さな目標でもいい。何か自分なりの思い、目標を持って勉強していきましょう。そんな子ども達と、一緒に勉強することを楽しみに、また一年間がんばっていこうと思います。よろしくお願いします。

人から“勉強しろ!”“勉強しなさい”と、言われて、いざ机にむかったものの何から始めればいいのか…全く分からないという人もいるでしょう。勉強する…という過程は、主に“教わる”“考える”“覚える、身につける”の3つの段階に分けることができます。例えば、学校での黒板を使った授業は“教わる”の段階にあるといえます。この段階で、自分の好きな事ならば一気に“覚える、身につける”までいくことができるでしょう。自分の好きな事は段階を意識せずとも知らない内に覚えてた…になるわけです。すると勉強も、自分の好きな事にしてしまえば、知らない内に“身についた…”となるわけで、塾では勉強を自分の好きなものにするべくお手伝いができれば、一番良いわけです。しかし、誰が言い始めたのかは知りませんが“勉強は好きなものではない…という人がほとんどでしょう。そこで、私たちが、“教わる”から“覚える、身につける”までがスムーズにいくようにすべくがんばるのです。特にうちの塾では黒板は、使っていませんから学校に比べて“考える”に時間がかけられることになります。“考えて身につける”ために、必要となるのが反復練習。数をこなして、自分のできる問題を、確実に増やしていく…ことで、自然と“覚える、身につける”ことができるように実践していきます。そのためにもみんなは、決して、面倒くさがらずに次々と、問題をこなしていってもらいたいと考えています。

新学期・新学年にあたり、生活環境が変わった人など塾へ勉強しに来る回数、曜日の変更を希望する人は決まり次第、連絡して下さい。今はまだ余裕がありますが、早い方が、より希望に沿うことができると思います。

今月の手紙の表紙の写真は、3月の終わりに、高3生と、春から、就職をむかえる人たちと行った卒業旅行の写真です。彼らも1年間しっかり勉強して、4月から各々大学生、社会人として新たな生活への一歩を踏み出してくれることと、思います。また、勝手ではありましたが、この旅行中に理紗先生の誕生日会もやらせていただきました。カードなどを書いて、協力して下さったみなさん、ありがとうございました。また、今回卒業旅行へ行った所(奈良県、明日香村)は、歴史で学習する、飛鳥時代の遺産が、数多くあり、世界遺産への登録を目指しています。昨年は、できなかった夏休みの合宿が今年、できましたら、また、この明日香村を訪れるつもりでいますので、お楽しみに!

最後になりましたが、この4月から、また1人卒業生の平野明香里さんに、塾を手伝ってもらうことになりました。この手紙の中に、彼女の自己紹介がありますので、子ども達は、よく知っている人だとは思いますが、御一読下さい。よろしくお願いします。